



紫陽花の庭に向かいて読書かな

# としょえもん

—学校図書館サポートだより 第1号（通巻17号）—



## 全ての子どもたちのための学校図書館を目指して

八王子市教育委員会 教育長 坂倉 仁

子どもたちが活字に親しくふれることは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするために、欠くことのできない活動であると認識しています。しかし、大学生の4割が1日の読書時間が「0」であるとの結果が、全国大学生生活協同組合連合会の調査で明らかになりました。残念ながら、本市におきましても、学年段階が進むにつれて、子どもたちの読書時間が減少するという傾向は見られます。この結果だけで、一概に子どもたちが本を好きではなくなったということの証とは言えないと考えますが、今後、子どもたちが読書や言葉に興味・関心を高める活動を一層充実させることが必要であると捉えています。

その際重要なことは、司書教諭を中心として、学校が一丸となって子どもたちに文字にふれることの楽しさ、有用さを知らせることであると考えます。更に加えて、八王子市の豊かな市民力を活かした中、地域人材を活用して、学校の学習活動を支援することも有効です。そこで、八王子市教育委員会では、平成22年度から学校図書館サポート事業に取り組んできました。本市の学校図書館サポート事業では、その当初から学校図書館の環境整備を行うとともに、教員へ学校図書館を活用した授業や子どもたちの読書意欲を高める取組に関する支援を行ってきました。その結果、それぞれ市内全校で、推薦図書の一覧を作成したり、図書委員会の子どもたちが本の紹介をしたり、図書ボランティアの方々と連携した読み聞かせを行ったりするなどの様々な取組が、学校に応じて徐々にですが実践されはじめてきております。

学校図書館サポート事業も、重点校の巡回指導、教員研修会・ボランティア研修、学校図書館サポーター派遣事業など、年々内容を拡大し、充実を図ってきています。それに伴い、各学校の読書に対する関心や授業で学校図書館を活用するといった教師の意識も高まってきていることを実感しております。また、学校図書館ボランティアの方々の登録者数も増加傾向にあり、「子どもたちのために」という思いをもって保護者や地域の方々に協力していただいていることは、大変心強く感じています。子どもたちの読書への関心を高めるためには、学校と保護者や地域の方々など、子どもと本をつなぐ全ての人の連携・協力の促進を図ることが、重要であると考えます。

今後、子どもたちが楽しく「調べ学習」などに臨めますよう、保護者・地域の方々とも連携を図り、学校図書館が情報センターとしての機能を果たせるよう努めてまいります。



仲良く読書（由木東小学校）

### 平成26年度の学校図書館サポート事業の予定

- 学校図書館活用重点校18校（小学校10校、中学校8校）に巡回支援を行います。  
今年度で、平成22年度より実施してきた市立小・中学校全校の重点校支援が完了します。
- 学校図書館サポーター（読書推進担当）が市立小・中学校44校に派遣されます。  
今年度、学校図書館サポーター（読書推進担当）が3名増員され、11名になりました。一人が4校を担当します。各校を週1日勤務し、学校図書館を活用した授業の支援や図書館の環境整備などを行います。
- 各種研修会を実施します。  
教員対象として、司書教諭研修会（2回）、パワーアップ研修会（1回）、学校図書館ボランティア対象として、ボランティア研修会（3回）、ステップアップ研修会（1回）を実施します。
- 広報誌「としょえもん」を年間3回発行します。  
サポート事業について、研修会の様子、重点校の紹介、おすすめ本や学校の取組などを紹介します。
- その他の事業  
小・中学生向けブックリストの作成と配布、教員やボランティア向け相談日の設定なども行います。

## 平成26年度第1回学校図書館ボランティア研修会 6月4日(水)10時～12時

**【講義 I】**読み聞かせてどんな本を選ぶか、皆さん悩みの多いところです。そこで今回は、JPIC 読書アドバイザーの児玉ひろ美先生に、『こどもに本を手渡す技術』というテーマでお話していただきました。発達心理学、子どもの心身の発達・成長という科学的な根拠・視点を基にした、どの時期にどんな本を読んであげればよいのかという貴重なアドバイスや、集団への読み聞かせという視点、子どもの前に立つ時に配慮することなどについてもお話があり、最後に「興味・関心を図書館にもって」「協力を」「継続して活動を」という『3Kのお願い』で締めくくられました。参加者は77名。「子どもの発達に合わせて本を選ぶことの大切さがよく分かった」「分かりやすいお話で、実際に活用できるポイントを知ることができ、来てよかった」などの感想が寄せられました。



**【講義 II】**『学校図書館を知ろう～整備ボランティアはじめの一歩』をテーマとして、指導課学校図書館担当が講師を務めました。研修の主な内容としては「ボランティアの心構え」「図書の種類や配架ルール」「掲示物や装飾」「著作権について」等の基礎編です。ボランティアとしては、「学校が図書館の充実や読書活動について、どう計画しているのかを確実に理解することが重要であること」「先生方とボランティアの人間関係を築くことが、よい活動につながる」「負担にならず続けられる活動を」「児童・生徒の学習を支援するための活動であること」などのキーポイントを学ぶことができました。

## 平成26年度第1回司書教諭研修会 6月27日(金) 14時20分～16時20分

**【小学校】**東久留米市立第三小学校長 稲垣達也先生に講師をお願いし、講演をいただきました。先生は、荒川区教育委員会指導室学校図書館支援室担当統括指導主事として、支援室のスタートに尽力され、講演では、学校図書館をより有効に活用するための「全体計画」や「運営・活用・年間指導・情報リテラシー等の指導計画」の作成について大変具体的なお話をいただきました。また、学校図書館の活性化、充実化に向けて自校の実践を具体的な事例として提示いただき、各学校の実態に即した学校図書館活用のための計画づくりの進め方を具体的に学ぶことができました。お話から、学校図書館経営方針のもと、司書教諭や、本市でも平成24年度から導入が始まった学校図書館サポーター（読書推進担当）、校内組織等の役割分担、連携の重要性を明確にすることができました。

**【中学校】**講師は、杉並区済美教育センター学校図書館サポートデスク担当の佐川祐子さん。区の子ども読書活動推進計画に基づいて進められてきた学校図書館支援の経過、組織、支援内容、支援の結果などの実践的な話に続いて、本日の主題である「学校図書館活用年間計画」と「学校図書館を活用した授業の実践事例」について講義がありました。今年3月にまとめられた資料冊子（杉並区学校図書館活用ガイドブック）を全員分ご用意くださり、具体的かつ丁寧なお話をしていただきました。実践的な内容は勿論、改めて、学校全体で取り組む姿勢や体験的な校内研修、子どもたちが小学校で学んでいることを知ることの大切さを感じさせられました。



### 学校図書館にいろいろ通信



#### 由木中学校

由木中は、今年度全クラスでオリエンテーションを行うとともに、司書教諭が中心になり、図書館を利用した授業に積極的に取り組んでいます。

中1国語「わかりやすく説明しよう」では、『なぜ？ どうして？ もっと科学のお話4年生』（森本信也監修 学研教育出版 2014年）に掲載されている「疑問」を用いて、それに対する答えを図書資料を利用して探す活動を行いました。サポーターは答えが載っている資料の有無を確認し、見付からない場合は協議して別の「疑問」に変更したり、調べ活動のサポートをしたりしました。

この他、中1国語「漢字の組み立てと部首」での支援や、中2総合「職業」中3総合「修学旅行関連」などで中央図書館と連携した資料提供、委員会やボランティア活動への支援も行っています。

※ボランティアさんの手作りウェルカムボード



#### 美山小学校

美山小学校はサポーター派遣の2年目になりました。1年目は環境整備を中心に、オリエンテーションや読み聞かせ、スタートしたばかりのボランティア活動の支援まで、幅広く活動しました。今年度はサポーターのいる日に全学年の学校図書館を活用した授業が設定され、授業支援にも力を入れています。学校からは、

- ・図書室利用のルールが定着、本の扱い方がよくなった。
- ・学校の中にサポーターの存在が浸透して、図書のことや調べ学習のことなど、何でも聞けるようになった。
- ・子どもたちも図書の時間を楽しみにしている。

等の評価をいただきました。サポーターからは、先生方と話す機会が増えて、授業で使う本などを手渡しやすくなったという報告もあり、国語や図書の授業と一緒に考えて作っていけるという機会も増えたという2年目のメリットも見えてきました。ボランティアさんの活動も増え、季節装飾やおすすめの本の展示などを行って、楽しい図書室になるよう心がけています。



<p>秋葉台小学校</p>			<p><b>左:</b> 図書館移転に伴う廃棄作業のあと読み聞かせ体験でほっと一息のボランティアさん。  <b>右:</b> 増築される校舎に移転が決まったため、オープンスペースに仮図書館が出現。ボランティアさんの力で整備が進みます。</p>
<p>浅川小学校</p>			<p><b>左:</b> 図書館入り口で明るく迎えるガラスケース。図書委員とボランティアさんの共同制作です。<b>右:</b> 東京都の小学生が書いた読書感想文をまとめた文集や「はちおうじの子」作文集などを本と一緒に展示しています。</p>
<p>桐田小学校</p>			<p><b>左:</b> 絵本棚の上にボランティアさん手作りの面出しラック。司書教諭の先生に習って作りました。<b>右:</b> カウンター手前におすすめの本を展示。雑誌用のラックに POP カードと「ただ今貸出し中」のカードも並んでいます。</p>
<p>浅川中学校</p>			<p><b>左:</b> 図書委員が書いた POP カードが映えるように、ボランティアの皆さんでスタンドを作りました。書架の上が明るくなりました。<b>右:</b> ボランティア研修会で習った POP カードを添えておすすめの本を紹介。</p>
<p>打越中学校</p>			<p><b>左:</b> 特別支援学級の生徒も利用します。手に取りやすい絵本を展示しています。<b>右:</b> 用務主事さんの協力で、後ろのドアをふさいでいた書架（左写真）を移動して出入り口を確保（右写真）できました。</p>
<p>七国中学校</p>			<p><b>左:</b> 一年生から三年生までの図書委員が、初めての POP づくりに挑戦している様子。<b>右:</b> 完成したぞうの POP カード。夏休みに向けて、おすすめの本を紹介しました。壁面の季節の装飾も委員会活動の一つです。</p>



## 本が好き！

本の表紙画像は出版社の許諾済です



このコーナーでは毎回本の紹介をしています。研修会の中で、講師の先生より紹介された本や学校図書館サポーター（読書推進担当）からのおすすめ本です。ぜひ読んでみてくださいね。

### 『サンドイッチ サンドイッチ』

作・小西英子 福音館

サンドイッチを作る行程を、柔らかな丁寧な絵で描かれた絵本。新鮮な野菜や、チーズやハム、どれもとても美味しそう。言葉にはリズムがあり、食事を作る楽しさが伝わってきます。「食育」をテーマにしたブックトークや、大型絵本にもなっていますので、お話会でも活躍しそうな一冊です。



### 学校図書館の窓から

#### 『105にんのすてきなしごと』

作・カーラ・カスキン 絵・マーク・シーモント  
訳・なががわちひろ あすなる書房

金曜日の夕方、空がだんだん暗くなり、もうすぐ夜になろうとしています。105にんは、仕事に行く準備を始めました。お風呂で本を読む人、短い靴下や厚めの靴下をはく人も。



年齢や家族、趣味もそれぞれです。実はこの人たち時間になるとある場所に集まります。やわらかい色彩の絵と文章に思わず、ひきこまれます。

心をひとつにしたとき、生み出される世界をぜひ体験してみてください。『オーケストラの105人』の（ジー・シー・プレス 1985年発行 すえもりブックス）新訳です。

（M：上壱分方小・横川小・川口小・川口中担当）

### 『今日から図書委員 小学校版』

全国学校図書館協議会・編



図書委員の日常的な活動や、集会などすぐに役立つ内容を中心に分かりやすく構成されたハンドブック。図書委員が知っておきたい基礎的な知識はもちろん、ボランティア活動にも参考になる情報が満載です。中学・高校版もあります。

## 図書館へGO！《学校貸出資料の活用》

### ■ 市立図書館の学校支援

八王子市中央図書館は学校用の調べ学習資料貸出を行っています。学校図書館活用重点校や学校図書館サポーター（読書推進担当）の派遣を機に利用が始まる学校もありますが、それら以外でも平成25年度は29校（小学校27校・中学校2校）からの申し込みがあり、配送便を使って利用されました。

### ■ 利用の申し込み者

多くは授業を担当する先生からの直接の依頼ですが、学校によっては司書教諭の先生が校内の利用をまとめています。こうすることで、その学校ではどのテーマでこういった資料が必要かを把握することができ、購入選書の参考になったり、調べ学習に取り組む先生方へのアドバイスも可能になります。多忙な中で先生方のニーズを取りまとめるという作業は大変です。学校の中での連携に工夫ができるとよいのではないのでしょうか。

### ■ 利用されているテーマ

小学校で多く利用されるテーマは、1年生「のりもの」、2年生「いきもの」「むかしばなし」、3年生「かいこ」「大豆」、4年生「橋」、5年生「移動教室」「米」、6年生「日光」「環境」など、中学校では「修学旅行」「国際理解」「福祉」などとなっています。利用する先生ごとに、単元に合わせた細かなリクエストもあり、貸出期間や冊数まで中央図書館の担当者が相談にのってくれます。1年に1回でも、図書を使った調べ学習に取り組んでみてはいかがでしょうか。（利用テーマは中央図書館の集計を参考にしています。調べ学習用セットのリストもあります。）



平成26年度第1号  
7月15日発行  
(通巻17号)

八王子市教育委員会 学校教育部指導課

学校図書館担当（教育センター内）

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988  
住所 八王子市散田町 2-37-1  
e-mail b301400@city.hachioji.tokyo.jp